

1330 | スペースデザイン論

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

牧野良三教授、富谷智講師、山本博一講師

授業の概要と目標

[空間の中の物語性の発見]

この科目では、空間を構成する造形的要素の表層的な意味を分析して、テーマに即した新しい空間造形の手掛りを探ることを目標としている。都市や自然の空間は多様な造形要素で構成されているが、視点や次元を変えてアプローチすると新しい意味をもった表象として認識することができる。特に時間的に変化する状況は、様々な物語のイメージの世界として受けとめることができる。

課題の概要

○通信授業課題〔観察と構成〕

身近な環境を空間として捉え、造形的表情と構成要素の関係を考察する。

○面接授業課題〔イメージ表現と空間構成〕

テーマの意味を読み解き、イメージの共有を図ることの出来る空間を提案する。

*課題については学習指導書『スペースデザイン論 平成 30 年度』を必ず参照する事。

授業計画

通信授業



面接授業

[通信授業]

観察を通して情報を整理し、空間の新しいイメージを表現する。

※通信課題を面接授業初日に必ず持参すること。

[面接授業]

第 1 日 前提講義と課題解説

第 2 日 コンセプトの作成と展開

第 3 日 中間プレゼンテーション

第 4 日 イメージの展開とイメージスケッチ

第 5 日 イメージドローイングと模型製作

第 6 日 制作と発表、講評

成績評価の方法

通信授業と面接授業の評価を総合的に判断する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3 年次

[履修条件] 「インテリアデザイン I・II」の単位を修得していること（スペースデザインコース 3 年次編入学生を除く）。

[備 考] 工芸工業デザイン学科スペースデザインコース 3 年次必修科目。

スペースデザインコース 3 年次編入学生でも、「インテリアデザイン I・II」を履修することが望ましい。

教材等

教科書：小石新八監修『スペースデザイン論』（武蔵野美術大学出版局 2003 年）

寺原芳彦 監修『インテリアデザイン』（武蔵野美術大学出版 2002 年）

学習指導書：『スペースデザイン論 平成 30 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018 年）

その他

インテリア事典、映像イベント事典、現代デザイン事典などがコンパクトな参考書となるが、建築、インテリア、その他の雑誌類も新しい資料として役立つ。

身の回りの空間を見つめ直すためには、様々な作例の情報収集などにも注意しておく。

1340 | 空間設計Ⅰ

3単位（通信授業1単位、面接授業2単位）

牧野良三教授、官浪辰夫講師、伊坂重春講師、大抜久敏講師

授業の概要と目標

[商空間の考察と設計]

店舗や商業施設、展示会、ウインドウディスプレイなどにおける商空間の在り方を考える。授業では任意に設定した既存の商空間をリサーチし、その空間におけるデザインの意味や役割を分析し考察する。更にそれらの基礎データをもとに、あらたなデザインを企画し設計する。

商空間には企業やブランドのロゴタイプをはじめ展示される商品や広告映像など多様なデザイン要素が集積する。これらを編集し適正に消費者に伝達することと共に、創造的で個性的な空間も求められている。斬新な発想と現代的な商業価値を合致させるための商空間の新しい方向性を探る。

課題の概要

○通信授業課題

店舗のデザインリサーチと分析により商空間を論理的に考察する。

○面接授業課題

通信授業におけるデザインリサーチのデータをもとにあらたな空間設計を行う。

*課題については学習指導書『空間設計Ⅰ・Ⅱ／スペースデザイン研究／卒業制作 平成30年度』を必ず参照すること。

授業計画

通信授業



面接授業

[通信授業]

任意で地域の店舗を選択し、そのデザインリサーチを行う。リサーチの主眼として店舗を構成するデザイン要素を抽出し、分析する。すなわち店舗のサイン（看板）などにおける企業やブランドのロゴタイプ、色彩などのデザイン。店舗で販売される商品のデザイン。販売台や壁面、床など空間のデザイン。リサーチの成果を面接授業の初日に各自プレゼンテーションを行う。

※通信課題を面接授業初日に必ず持参すること。

[面接授業]

デザインリサーチに基づき独自の発想で店舗デザインを設計する。店舗のロゴタイプ、色彩、および商品など既存のデザインは通信授業で収集したデータを標準的に使用する。

第1日 前提講義、通信授業のプレゼンテーション

第2日 コンセプトメイキング

第3日 設計

第4日 制作実習

第5日 制作実習

第6日 プレゼンテーション、講評

成績評価の方法

通信授業および面接授業における課題への取り組み姿勢、プレゼンテーションの内容を主体に、出席状況を総合して評価する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] スペースデザインコース3年次必修科目をすべて修得していること（「学生ハンドブック」p.051の特例を除く）。

[備考] 工芸工業デザイン学科スペースデザインコース4年次必修科目。

教材等

教科書：小石新八監修『スペースデザイン論』（武蔵野美術大学出版局 2003年）

寺原芳彦 監修『インテリアデザイン』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

学習指導書：『空間設計Ⅰ・Ⅱ／スペースデザイン研究／卒業制作 平成30年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018年）

その他

教科書の他に、各種の専門誌、商業施設関連の単行本等も、参考書として適宜利用する。リサーチ、設計等においてデジタルメディアの活用も組み入れていく。

1350 | 空間設計 II

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

牧野良三教授、谷浩二講師、富谷智講師、杉本孝夫講師

授業の概要と目標

[光と空間の演出効果]

空間を語る上で欠くことの出来ないエレメントのひとつである光は、効果的な演出により空間に表情を与える。空間の構造や機能と光の密接な関係を探りながら、光の特性を効果的に用いることで生まれる新しい空間の在り方を考察する。

公共空間（商業施設、文化施設など）に於ける光の演出や、劇場空間での光の効果などを参考に、光と影を活用した空間の演出プランとその方法も探る。

課題の概要

○面接授業課題 [光と空間の造形]

光の特性と演出効果を用いた照明の基本実習。

演出テーマに向けた照明計画とその表現方法の確立。

○通信授業課題 [光と空間の演出効果]

光と空間の造形をまとめ、新たに設定されるコンセプトによる照明計画とその展開をまとめる。

*課題については学習指導書『空間設計 I・II / スペースデザイン研究 / 卒業制作 平成 30 年度』を必ず参照すること。

授業計画

面接授業



通信授業

[面接授業]

第 1 日 前提講義、課題説明

第 2 日 テーマ設定 1、照明実験

第 3 日 基本実習

第 4 日 テーマ設定 2、照明実験

第 5 日 基本実習

第 6 日 基本実習、講評

[通信授業]

面接授業の光と空間の造形をまとめて、分析する。写真、図表、図面、見取図等によるレポートとして提出。

成績評価の方法

通信授業と面接授業を総合的に評価する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4 年次

[履修条件] スペースデザインコース 3 年次必修科目の単位をすべて修得していること（「学生ハンドブック」p.051 の特例を除く）。

[備 考] 工芸工業デザイン学科スペースデザインコース 4 年次必修科目。

教材等

教科書：小石新八監修『スペースデザイン論』（武蔵野美術大学出版局 2003 年）

寺原芳彦 監修『インテリアデザイン』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

学習指導書：『空間設計 I・II / スペースデザイン研究 / 卒業制作 平成 30 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018 年）

その他

グループワークあり。

1360 | スペースデザイン研究

3単位（通信授業1単位、面接授業2単位）

牧野良三教授、車田幸道講師

授業の概要と目標

[劇空間の演出性の考察と表現]

都市には、様々に演出された空間が混在する。例えば、イベントのための空間、演劇等の上演のための空間など特定の目的をもった施設、照明や造形物によって新たな意味を加えていく環境演出など多様な事例がある。その中軸となるのは、空間に劇的要素を加える演劇的手法である。テーマに応じて表現メディアをどのように組み合わせるか、演出手法の分析を通して学習する。

課題の概要

○面接授業課題

前半：劇的な空間表現手法の解説と事例の学習。台本分析。

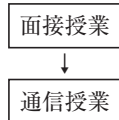
後半：テーマを設定して、イメージを展開していく。

○通信授業課題

面接授業で実習したテーマのイメージスケッチ及び見取図を完成し、提出する。

*課題については学習指導書『空間設計I・II / スペースデザイン研究 / 卒業制作 平成30年度』を必ず参照すること。

授業計画



[面接授業]

第1日 前提講義と課題説明

第2日 コンセプト作成と資料収集

第3日 イメージデザインの提示

第4日 イメージドローイング

第5日 ドローイングとプレゼンテーション・ボードの制作

第6日 制作、発表と講評

[通信授業]

面接授業で指定された空間とテーマに則して、スケッチと図面及び完成予想図を作成する。

成績評価の方法

通信授業と面接授業を総合的に評価する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] スペースデザインコース3年次必修科目の単位をすべて修得していること（「学生ハンドブック」p.051の特例を除く）。

[備 考] 工芸工業デザイン学科スペースデザインコース4年次必修科目。

教材等

教科書：小石新八監修『スペースデザイン論』（武蔵野美術大学出版局 2003年）

寺原芳彦 監修『インテリアデザイン』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

学習指導書：『空間設計I・II / スペースデザイン研究 / 卒業制作 平成30年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018年）

その他

教科書の他、面接授業では劇場、イベント、テーマパークなどの事例を紹介する。

人工的な空間ばかりでなく都市と自然の関係にも対応して授業を進める予定。